

報道機関各社 様

札幌国際芸術祭 AIやプログラミングを活用した 小中学校23校での「出前授業」を本年度もスタート

プログラムの拡大、国際展開、大規模な成果発表（SIAF2027会期中）を予定

札幌国際芸術祭（略称：SIAF^{サイアフ}）は、小中学校等を対象とした「出前授業」を今年度も継続し、本日7月14日より実施します。本取り組みでは、表現の第一線で活動するアーティストの視点や企業の知見を盛り込んだプログラムを教育現場に提供し、多くの子どもたちに創造的な体験を届けてきました。2023年度のスタート以来、年を追うごとに評判を広め、4年目を迎える今年度は過去最大の実施数となります。プログラムを4種類に拡充し、これまで以上に多角的なアプローチを行うほか、フィンランドのオウル市における展開や、2027年1月に開幕する札幌国際芸術祭2027（SIAF2027）での成果物の公開・展示も決定しました。



（参考写真）過去に実施した「プログラミングでアートにチャレンジ」の様子

札幌国際芸術祭の出前授業 | 4つの特色

1. 表現の第一線で活動するアーティストの視点や着想を子どもたちに提供する共同開発プログラム。回を重ねるごとに学校現場からの声や期待も増え、今では芸術祭の枠を超え、地域に寄り添う大切な取り組みの一つとして根づきつつあります。
2. AIやプログラミング、AR（拡張現実）、XR（クロスリアリティ）など、最新のテクノロジーや企業の知見を教育現場に提供します。感覚的に取り組むことができるので、子どもたちは試行錯誤しながらも大きなチャレンジができます。
3. STEAM教育（教科横断型プログラム）の導入。学校によってさまざまな教科に取り入れていただくことができ、多角的なアプローチが可能となります。
4. 各授業での成果は、SIAF2027を舞台とする作品展示や、子どもたちによる「作品ガイドプログラム」へと展開されます。授業の枠を超えて、子どもたちが芸術祭に主体的に参加するSIAFならではの先進的な取り組みです。

過去実施校で行ったアンケートからの抜粋

- ・ 子どもたちが集中して話を聞いており、また、プログラミングの時間には夢中になって取り組む様子が見られてとてもいい時間だった。
- ・ このようなプログラミングの授業はなかなか学校だけではできないので、出前授業で体験させていただき、大変貴重な機会だった。
- ・ 自分の木（成果）を完成して終わるのではなく、他の人が作った木も見れる点がよかった。盛り上がった。
- ・ 子どもたちが日常生活で芸術に関心がもてるようになるきっかけの出前授業だと感じた。
- ・ 絵を描くのが苦手な子も、得意な子も、大きな差がなくできるのがとても魅力的。
- ・ どの子も楽しめていて、大変充実した時間だった。
- ・ 3年生は社会の学習で札幌市について学習してるので、芸術という新しい札幌市の魅力を学ぶことができ大変良い機会となった。



（レポート）昨年度の出前授業の様子

2026年度 出前授業 実施概要

実施期間：2026年7月～11月

※小中学校の夏休み期間（7月25日～8月23日）を除いて実施します。詳しくはお問い合わせください。

実施校一覧（札幌市内の小中学校等23校）：

札幌市立厚別西小学校、札幌市立稲穂小学校、札幌市立栄中学校、札幌市立栄町小学校
札幌市立三角山小学校、札幌市立しらかば台小学校、札幌市立新琴似北小学校
札幌市立新陵中学校、札幌市立豊園小学校、札幌市立豊平小学校、札幌市立八軒北小学校
札幌市立東川下小学校、札幌市立東白石小学校、札幌市立平岡中央小学校、札幌市立福住小学校
札幌市立前田小学校、札幌市立前田北小学校、札幌市立美園小学校、札幌市立南小学校
札幌市立藻岩南小学校、札幌市立元町中学校、札幌市立和光小学校、南幌町立南幌中学校

※授業の様子を取材していただける場合は、学校宛ではなく、札幌国際芸術祭実行委員会事務局まで事前にご連絡ください。
各学校での実施日および時間については個別にご案内します。

実施プログラム：

- ①「プログラミングでアートにチャレンジ」
プログラム制作パートナー：フジ森（アートユニット）
協力：北海道大学 名誉教授 古川義純、札幌市博物館活動センター
- ②「こんな学校あったらいいな－ペンタブレットを使って学校を变身させよう」
プログラム制作パートナー：株式会社ワコム（イニシアティブ・パートナー）、佐竹真紀（映像作家）
- ③「AIとARで札幌の自然を再発見するワークショップ－いきものの記憶と記録」
プログラム制作パートナー：ゴッドスコピーオン（メディアアーティスト）
- ④「現代アートってどう見るの？－作品ガイドにチャレンジ」
プログラム制作：札幌国際芸術祭

主催 | 札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市

連携都市 | フィンランド・オウル市（ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ都市）

▶札幌発のSTEAM教育プログラム、フィンランド・オウル市にて海外で初の出前授業！

SIAFがアートユニットのフジ森とともに開発した出前授業プログラム「プログラミングでアートにチャレンジ～自分だけの雪の結晶をつくろう～」を、フィンランド・オウル市でも8～9月にかけて展開します。札幌市とオウル市は、「ユネスコ創造都市ネットワーク（UCCN）」のメディアアーツ分野に加盟しています。その縁から、オウル市の小中学校20～30校・約1,000人の子どもたちを対象とした本プログラムの実施が決まりました。現地の子どもたちの成果は、フジ森の手によって一つの作品となり、11月にオウル市で開催される光のフェスティバル「Lumo Light Festival 2026」にて公開されるほか、SIAF2027でも展示予定です。



札幌国際芸術祭（SIAF）について

SIAFは、公共施設や公園、地下空間など札幌市内のさまざまな場所で開催される3年に一度の国際的なアートイベントです。2027年1月に開幕するSIAF2027では、札幌をひとつの星“プラネット・スノー”に見立て、全11会場に国内外の優れたアート作品や新しい表現が集まります。

また、3年に一度のフェスティバルだけでなく、アートが市民の生活や教育と日常的に交わる場として「SIAFスクール」を展開。その一環として札幌市内の小中学校の児童・生徒を対象に、SIAF事務局とアーティストや連携企業が協働して作り上げた「出前授業」を2023年度から実施しています。

▶公式ウェブサイト： <https://siaf.jp/>

上記の取り組みの周知および取材のご協力をお願いいたします。取材いただける場合は、下記担当者へご連絡ください。

お問合せ

札幌国際芸術祭実行委員会 担当：杉本・西

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階

電話：011-211-2314（平日 8:45～17:15） Fax：011-218-5157 E-mail： press@siaf.jp